

放射線量測定器の使い方

1 測定器

環境放射線モニタ ラディ（堀場製作所製）

2 測定器の取扱い

(1) 測定器は精密機械なので落としたり、乱暴な取り扱いほしないようにお願いします。

(2) 測定器の保護

測定器に泥や砂が付着すると正確な値が表示できなくなる可能性があるため、必ずビニール袋をかぶせたままで、使用してください。（測定する放射線はビニールを透過するので測定値に影響はありません。）明らかに泥や砂で汚れてしまった場合、ビニール袋を交換してください。

(3) 使用後は必ず、電源を切ってください。



3 具体の測定方法

(1) 測定器の取扱い方法

- ア 電源を入れる（電源ボタン 0.5 秒長押し）
- イ 3 5 秒後に最初の測定値が表示される。
- ウ 1 0 秒後に次の測定値が表示される。
- エ その後 1 0 秒毎に測定値が表示される。

測定時は必ずビニール袋で養生してください。

検出器

電源ボタン



(2) 測定及び記録

ア 測定地点を決定し、地表面から 1 m、5 0 c m の高さで測定してください。
※メジャー等で必ずそれぞれの測定高さを確認しながら測定してください。

イ 測定地点において、それぞれの測定高さを確認し測定器を手のひらに保持してください。

ウ それぞれの測定高さに測定器を保持した後、1 分間（1 0 秒ごとに表示される値 6 回分の数値は保持する間の移動分の値が含まれるため）記録せず、1 分後（7 回目）に表示される値から 1 0 秒ごとに表示される値を 5 回記録してください。

4 測定結果の提出

測定した地上高 5 0 c m 及び 1 m の測定結果のうち、代表的な 1 箇所の測定結果を、「放射線量測定値集計表」により提出をお願いします。

5 問い合わせ先

操作方法等についてご不明な点があれば、次のページの Q & A をご覧いただくか、生活安全課までお問い合わせください。（2 2 - 3 1 1 1 内線 7 2 6 ・ 3 3 7）

放射線量測定器（ラディ） Q & A

※ラディ取扱説明書から引用

1 ラディは何を測っているのですか？

ラディは γ （ガンマ）線という放射線を測定するモニタです。

2 ラディを動かしていないのに、値が変わるのは？

その場所の放射線の量がわずかに変化しているためです。何回か測定して平均すると信頼できる値になります。

3 ラディを置く場所や向きは測定値に影響しますか？

自然放射線はあらゆる方向からやってくるので、自然放射線を測定するときには、ラディを置く場所や向きは気にしなくてもかまいません。水平に置くか、手に持つだけで大丈夫です。

4 電源をONにしたけど、35、34、33と数字が表示される

電源ON直後の約35秒間、液晶には数字がカウントダウン表示され、測定値は表示されません。その間、ラディは測定しながら平均値を計算しています。

5 表示の値が変わらない

大丈夫です。ラディは10秒ごとに新しい測定値を表示しますが、同じ値が連続して測定された場合には、表示値が変わらないように見えます。

6 雨が降ると表示の値が高くなる

一般に雨が降ると表示値は高くなる傾向があります。

7 測定器から、「ピピッ」「ピピピ」のような音が聞こえる。

本体のBUZZER（ブザー）ボタンを押すと、測定器が放射線を感知するたびに発音し、再度ブザーボタンを押すことで音は消えます。（※故障や警報音ではありません。）

8 測定値の上限は？

この測定器では、 $9.999 \mu\text{Sv/h}$ が計測の上限となり、その値を超えると数字が点滅してオーバーフローしていることを示します。一度オーバーフローすると1分間表示は戻りません。